

# 持続的な成長と分配のためのマクロ経済政策

2023年3月30日

清滝信宏

## 新しい資本主義の経済的な意義

市場経済は充実した社会資本により国民生活に安定と幸福をもたらす

企業や個人の私的利益の追求は、公共の利益に貢献してこそ正当化され持続する

社会資本には、制度資本、公共資本、自然資本がある

教育と医療は最も大事な制度資本  
公共資本は拡大より維持が重要

どのように社会資本を充実させるかは、歴史的背景と国民の選択に依存

持続的な成長と分配のためには教育と技能の蓄積が重要

すべての子供が良質の基礎教育を受けることは、高等教育や成人教育の支援より、生活水準の持続的向上に結びつく

転職が一般化するなか、企業は終身雇用に基づかない新たな技能の蓄積のシステムを模索すべき。技能の蓄積は、民間の主導で行うのが効率的

分配で一番大切なのは弱者を保護することで、富裕層・中間層の間の再配分ではない

幼児に良質な医療と教育を提供する → 少子高齢化対策としても有効  
高齢者に介護と年金を通じてセイフティネットを提供する

## 日本の実情に応じた政策で成長と分配を持続させる

日本経済の相対的規模が縮小するなか、開放経済のメリットを活かすことが重要

日本の企業や人が海外に進出するとともに、海外の企業や人が日本に来ることが必要

バイデン流の環境改善のための公共投資や補助金政策は、相対的に経済規模の小さい日本では非効率

政府は基礎研究を助成するとともに、炭素税を通じて地球環境の持続に貢献する